

1 全体のコンセプト
<ul style="list-style-type: none"> <li>・南北に貫く「空中回廊」という「人的動線」を設けることによって、住民と生徒が自由に往来・触れ合うことで“人的な交流・接触”を喚起し、南北2つのゾーンを通して“施設の共有・複合化”を目指します。</li> </ul>
2 複合施設及び敷地内外の複合化の概要(規模、機能、建設・管理の主体等)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・南側は、プール跡地に音楽室を配し2階にはコンビニエンスストア、体育館跡地には調理室を配し2階には多目的教室を置きます。北側の忠魂碑も南側に移します。</li> <li>北側には、建物1跡地に体育館とプール、テニスコートに公民館を配します。</li> <li>・この南側と北側のゾーンを空中回廊で結び、さらに北側はJA施設(特売所)への回廊延伸を計ります。</li> <li>(テニスコートは校庭に移しますが、200mトラックに支障を及ぼすようならば、体育館屋根部に設けることも検討)</li> </ul>
3 セールスポイント(費用対効果、スケジュール、手法、技術上の工夫等)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館、体育館などの解体・取り壊しによって、その期間利用が出来なくなることを避けるため、同一場所には再び同じ施設を建設しない方針で計画。</li> <li>具体的な順番としては、「建物1解体」→「体育館／プール建設」→「旧体育館／プール取り壊し」→「新公民館／調理室／音楽室建設」→「旧公民館取り壊し」→「忠魂碑移設」。</li> <li>・なお、「空中回廊」はその間同時平行的に建設。</li> <li>・公民館、体育館、多目的教室、CVSの各屋根には「ソーラーパネル」を設置して、主に温水プールの熱源とする他、他の施設にも配電する仕組みとします。</li> <li>・この西中複合施設はシンボル事業の試金石という位置付けであり、この成否が今後の公共再配置計画に大きく影響すると思われるので、生徒及び近隣住民が“何度も来たいと思う複合施設”という点に主眼を置いています。即ち、「利用者の理解を得られる説得力を持つ施設」ということが、シンボル事業としての要諦であると考えます。</li> <li>・西中建物1、公民館、体育館、プールの各施設は、(耐用年数から)解体・取り壊しが前提、加えて調理室と音楽室の建設も条件と考えると、当案による余計なコストは、「コンビニ」「多目的教室」「空中回廊(憩いのデッキ含</li> </ul>

む)」「温水プール」となりますが、先のシンボル事業の試金石的なプロジェクトという位置付けに加えて、将来的にも恒常的な付加価値を有する複合施設としてPRできる点を視野に入れると、許容され得るコストと考えてもいいのではないかと思います。

#### 4 利用者及び学校教育活動に配慮した点

・空中回廊を設けるのは、学校敷地内における住民の専用動線を確保することと、共有・複合化とはいえ（学校施設内に過度に立ち入らないために）ある程度の「棲み分け」が必要だろうとの判断によります。

また、回廊および数箇所のデッキによって、「行き来する住民の目による監視」という役目を持たせ、生徒の非行への抑止効果を期待します。

・南側ゾーンのコンビニ設置は、従来この近辺にはコンビニがないため、生徒のみならず近隣住民にも利用の便宜性を提供する事と、テナント料収入を期待しての設置となります。

多目的教室は、生徒や住民が自由に使えるスペースという目的と、将来的に建物2や建物3の解体が生じた際に、緊急的に使えるスペースを確保する意味合いも兼ねています。

忠魂碑は、従来の目立たない場所から、日が当たり多くの往来者の目に触れる南側に移設します。デッキからも眺められるようにします。

・北側の体育館はプールと一体化し、プールは温水とすることで季節を問わず授業や部活で活用でき、また住民にも幅広く利用できることを目的としています。

・回廊の北側は、国道246号をまたいで「JA特売所」まで伸ばすイメージですが、これにより南側の方はJAへの利便性が図られ、生徒においては従来の動線に加えて新たな動線ができることで、通学登下校時の安全性と利便性が確保されます。

要項の内容を熟知し、検討素材として採用された場合は、その内容が氏名等とともに公表されることに同意のうえ、上記のとおり応募します。

応募者の氏名又は法人名		
応募者の住所又は所在		
連絡先	電話	
	メール	

※ 太枠内を記入し、2ページ以内にまとめてください。